



ユーザーガイド

Savings Plans



Version 1.0

Copyright © 2024 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Savings Plans: ユーザーガイド

Copyright © 2024 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは、Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は、Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

Savings Plans とは	1
Savings Plans タイプ	2
Compute Savings Plans とリザーブドインスタンス	3
使用開始	6
サポートされる サービス	7
Amazon EC2	7
AWS Fargate	7
AWS Lambda	8
Amazon SageMaker	8
Savings Plans のレコメンデーションについて	9
推奨事項の計算について	10
Savings Plans レコメンデーションのカスタマイズ	11
Savings Plans レコメンデーションの詳細の表示	11
Savings Plans レコメンデーションのダウンロード	12
CSV フィールドの詳細	13
Savings Plans を購入する	14
Savings Plans レコメンデーションの評価	14
カスタム Savings Plan コミットメントの購入	15
Savings Plans の購入をキューに登録する	16
Savings Plans の購入の確認と確定	17
購入した Savings Plan の返却	19
Savings Plan の返品制限	20
節約の機会を理解する	21
Savings Plans の詳細の表示	21
Savings Plans アラートの管理	22
Savings Plans のモニタリング	23
Savings Plans インベントリの表示	23
Savings Plan の更新	24
キューに登録されている Savings Plans を削除する	25
Savings Plans 料金のダウンロード	26
Savings Plans のインベントリのダウンロード	26
Savings Plans 使用率レポートの使用	27
使用率メトリクスと計算について	27
Savings Plans 使用率レポートのダウンロード	28

Savings Plans カバレッジレポートの使用	28
カバレッジメトリクスと計算について	28
Savings Plans カバレッジレポートのダウンロード	29
Savings Plans の予算の使用	29
テンプレートを使用して Savings Plans 予算を作成する	30
Savings Plans 予算のカスタマイズ	31
Savings Plans が の使用に適用される仕組みを理解する	33
Savings Plans を用いた場合の請求額の計算	33
Savings Plans の例	33
シナリオ 1: Savings Plans をすべての使用に適用する	35
シナリオ 2: Savings Plans を一部の使用に適用する	35
シナリオ 3: Savings Plans が製品全体の一部の使用に適用する	35
シナリオ 4: Savings Plans と EC2 リザーブドインスタンスが使用状況に適用される	36
シナリオ 5: 複数の Savings Plans を使用に適用する	36
Amazon による自動化 EventBridge	37
Savings Plans からのイベント例	37
Savings Plans 状態変更イベント	37
Savings Plans の状態変更アラートイベント	39
Identity and Access Management	41
ポリシーの構造	41
AWS マネージドポリシー	42
ポリシーの例	42
による Savings Plans API コールのログ記録 AWS CloudTrail	44
の Savings Plans 情報 CloudTrail	44
Savings Plans ログファイルエントリを理解する	45
ドキュメント履歴	47
.....	xlviii

Savings Plans とは

Savings Plans は、AWS 使用量を節約する柔軟な料金モデルを提供します。AWS コンピューティングワークロードを最大 72% 節約できます。Compute Savings Plans は、EC2 インスタンスファミリー、サイズ、OS、テナンシー、または AWS リージョンに関係なく、Amazon インスタンスの使用に対して低価格を提供します。これは、AWS Fargate および AWS Lambda の使用にも適用されます。SageMaker Savings Plans は、SageMaker インスタンスファミリー、サイズ、コンポーネント、または AWS リージョンに関係なく、Amazon インスタンスの使用に対して低価格を提供します。

Savings Plans では、1 年間または 3 年間の指定量のコンピューティング処理 (1 時間ごとに測定) を使用するコミットメントと引き換えに、オンデマンド料金を超える削減を提供します。

- 1 年: 1 年は 365 日 (31,536,000 秒) として定義されます。
- 3 年: 3 年は 1,095 日 (94,608,000 秒) として定義されます。

AWS Cost Explorer のレコメンデーション、パフォーマンスレポート、予算アラートを使用して、プランを管理できます。

Savings Plans にサインアップすれば、使用量に対して支払う料金はプラン期間中変わりません。コミットメント料金は、[全額前払い]、[一部前払い]、または [前払いなし] のオプションを使用して支払うことができます。

開始するには、AWS Cost Explorer を使用して、推奨される Savings Plans コミットメントの表示、Savings Plans のレコメンデーションの更新、Savings Plans の購入、Savings Plans の管理、過去の AWS 使用状況の表示を行います。これらの推奨事項により、お客様にとって最適な Savings Plans のコミットメントレベルを簡単に知ることができます。ニーズに合わせて推奨事項をカスタマイズし、Savings Plans を購入できます。Savings Plans の対象となる AWS サービスの完全なリストを確認するには、「」を参照してください [Savings Plans の特典の対象となるサービス](#)。

トピック

- [Savings Plans タイプ](#)
- [Compute Savings Plans とリザーブドインスタンス](#)

Savings Plans タイプ

AWS には、Compute Savings Plans、EC2 Instance Savings Plans、Savings Plans の 3 種類の SageMaker Savings Plans があります。Compute Savings Plans

- Compute Savings Plans は、柔軟性が最も高く、オンデマンド料金から最大 66% の割引が受けられます。これらのプランは、EC2 インスタンスファミリー (m5、c5 など)、インスタンスサイズ (c5.large、c5.xlarge など)、リージョン (us-east-1、us-east-2 など)、オペレーティングシステム (Windows、Linux など)、テナンシー (Dedicated、default、Dedicated Host など) に関係なく、インスタンスの使用に自動的に適用されます。また、Fargate と Lambda の使用にも適用されます。Compute Savings Plans を使用すると、ワークロードを C5 から M5 に移動したり、使用状況を EU (アイルランド) から EU (ロンドン) に移動したり EC2、Fargate ECS を使用してアプリケーションを Amazon から Amazon に移行したりできます。これらの変更を行っても、Compute Savings Plans が提供する低価格のメリットを引き続き享受できます。
- EC2 Instance Savings Plans は、選択した AWS リージョン (バージニアの M5 など) の特定のインスタンスファミリーへのコミットメントと引き換えに、オンデマンドで最大 72% の割引を提供します。これらのプランは、サイズ (m5.xlarge、m5.2xlarge など)、OS (Windows、Linux など)、テナンシー (ホスト、専用、デフォルト) に関係なく、リージョン内の指定されたファミリー内での使用に自動的に適用されます。

EC2 Instance Savings Plan では、インスタンスファミリー (から c5.xlarge など c5.2xlarge) またはオペレーティングシステム (Windows から Linux など) 内でインスタンスサイズを変更したり、Dedicated Tenancy から Default に移動して EC2、Instance Savings Plan が提供する割引料金を受け続けることができます。

- SageMaker Savings Plans は、オンデマンド料金の最大 64% の割引を提供します。これらのプランは、SageMaker インスタンスファミリー (、など) m1.m5 m1.c5、インスタンスサイズ (m1.c5.large、など) m1.c5.xlarge、リージョン (us-east-1、など) us-east-2、コンポーネント (ノートブック、トレーニングなど) に関係なく、インスタンスの使用に自動的に適用されます。

SageMaker Savings Plans を使用すると、ワークロードを から m1.c5 に移行したり m1.m5、使用状況を欧州 (アイルランド) から欧州 (ロンドン) に移行したり、使用状況を Inference から Training にいつでも移行したりして、引き続きメリットを得ることができます。

Note

Savings Plans は、コミットメントと引き換えに低価格を提供します。コミットメント条件は、購入後に変更することはできません。使用量に変更があれば、追加の Savings Plans にサインアップできます。

専有インスタンスは、1 つ以上の専有インスタンスを実行しているすべてのリージョンで 1 時間あたり 2 USD が課金されます。これらの専用料金は、Savings Plans で割引されません。

コンピューティングプランタイプと EC2 インスタンスプランタイプはどちらも EMR、Amazon クラスター、Amazon クラスター EKS、および Amazon ECS クラスターの一部である EC2 インスタンスに適用されます。Amazon の EKS 料金は Savings Plans でカバーされませんが、基盤となる EC2 インスタンスは になります。

Compute Savings Plans とリザーブドインスタンス

Compute Savings Plans は、Amazon EC2 リザーブドインスタンス (RI) と同様に低価格でありながら、柔軟性を高める柔軟な料金モデルです。Savings Plans では、特定のインスタンス構成ではなく、一定量のコンピューティング使用量 (1 時間あたり USD で測定) にコミットすることで、請求額を削減できます。Savings Plans を利用すると、交換や変更を行うことなく、ニーズに最適なコンピューティングオプションを低価格で柔軟に使用できます。

Compute Savings Plans は、Convertible と同様に、オンデマンドで最大 66% の割引を提供します RIs。Compute Savings Plans は、EC2 インスタンスの使用、Fargate、Lambda のコストを自動的に削減します。EC2 Instance Savings Plans は、スタンダードと同様に、オンデマンド料金から最大 72% の割引を提供します RIs。また、選択したリージョン内の特定のインスタンスファミリー内の EC2 インスタンス使用量に対して自動的にコストを節約します。詳細については、「[Savings Plans タイプ](#)」を参照してください。

Savings Plans と の比較 RIs

	Compute Savings Plans	EC2 インスタンス Savings Plans	コンバーティブル RIs*	標準 RIs
オンデマンドからの削減	最大 66%	最大 72%	最大 72%	最大 72%

	Compute Savings Plans	EC2 インスタンス Savings Plans	コンバーティブル RIs*	標準 RIs
金銭的コミットメントと引き換えの低価格	✓	✓	—	—
すべてのインスタンスファミリーに自動的に価格を適用	✓	—	—	—
すべてのインスタンスサイズに自動的に価格を適用	✓	✓	—**	—**
すべてのテナンシーや OS に自動的に価格を適用	✓	✓	—	—
Fargate EKS を使用して Amazon ECS と Amazon に自動的に適用される	✓	—	—	—
Lambda に自動的に適用	✓	—	—	—
AWS リージョン間で料金を自動的に適用する	✓	—	—	—
1 年または 3 年の期間オプション	✓	✓	✓	✓

* コンバーティブルRIはインスタンスファミリー、サイズ、OS、テナンシー間で変更できますが、手動で交換を実行する必要があります。

** リージョンコンバーティブルRIおよびリージョン標準RIは、インスタンスサイズの柔軟性を提供します。

Note

Savings Plans はキャパシティ予約を提供しませんが、オンデマンドキャパシティ予約 (ODCR) を二ーズに合わせて割り当てることができます。Savings Plans が適用されます。SUSE Linux Enterprise Server (SLES) を実行しているインスタンスの Savings Plans の料金は、対応する RI 料金とは異なります。

Savings Plans の価格は、時間単位のコミットメントの金額によって変わることはありません。

Savings Plans は、スポット使用量または の対象となる使用量には適用されませんRI。

Savings Plans は、コミットメントと引き換えにオンデマンド価格よりも低価格で提供されるもので、期間中にキャンセルできません。

Savings Plans の使用開始

Savings Plans の使用を開始するには、Cost Explorer を有効にする必要があります。Cost Explorer は、Savings Plans でコストを最適化するのに役立つものです。Cost Explorer では、過去の AWS 使用状況に基づいてカスタマイズされた購入の推奨事項にアクセスしたり、Savings Plans を購入したり、購入した Savings Plans を簡単に管理したりできます。

コンソールを使用して Savings Plans AWS Billing and Cost Management を表示、分析、管理する前に、Cost Explorer で設定とアクセス許可を有効にすることから始めます。

前提条件

- Cost Explorer を有効にする。まず Cost Explorer アクセスを有効にして、Savings Plans へのアクセスを管理します。推奨事項の作成に必要なデータが利用可能になるまでに、最大 24 時間かかることがあります。詳細については、「AWS Cost Management ユーザーガイド」の「[Cost Explorer のアクセス制御](#)」を参照してください。
- を使用して購入を有効にします APIs。Savings Plans の IAM アクセス許可の管理 APIs については、[Savings Plans API リファレンス](#) を参照してください。

Savings Plans の特典の対象となるサービス

AWS には、Compute Savings Plans、EC2 Instance Savings Plans、Savings Plans の 3 種類の SageMaker Savings Plans があります。Compute Savings Plans Compute Savings Plans は、Amazon EC2、AWS Lambda、および 全体での使用に適用されます AWS Fargate。EC2 Instance Savings Plans は EC2 使用状況に適用され、SageMaker Savings Plans は SageMaker 使用状況に適用されます。

Amazon EC2

Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) は、Amazon Web Services, Inc. (AWS) クラウドでスケーラブルなコンピューティング容量を提供します。Amazon を使用すると、ハードウェアに事前に投資する必要 EC2 がなくなるため、アプリケーションをより迅速に開発してデプロイできます。Amazon を使用して EC2、必要な数の仮想サーバーを起動し、セキュリティとネットワークを設定し、ストレージを管理できます。Amazon EC2 では、要件の変化や人気の急増に対応するためにスケールアップまたはスケールダウンできるため、トラフィックを予測する必要がなくなります。

Amazon の詳細については EC2、「Amazon 入門ガイド」の「Amazon [とは EC2](#)」を参照してください。 EC2

AWS Fargate

AWS Fargate は、Amazon Elastic Container Service (Amazon ECS) と Amazon Elastic Kubernetes Service (Amazon EKS) の両方で動作するコンテナ用のサーバーレスコンピューティングエンジンです。Fargate を使用すると、アプリケーション構築への集中が容易になります。Fargate を使用すると、サーバーのプロビジョニングと管理が不要になり、アプリケーションごとにリソースを指定して支払いを行うことができます。また、バイデザインによるアプリケーション分離でセキュリティが向上します。

Fargate は、Compute Savings Plans の対象となります。

Amazon ECS on Fargate の詳細については、[「Amazon Elastic Container Service デベロッパーガイド」の「Amazon Elastic Container Service とは」](#)を参照してください。

Amazon EKS on Fargate の詳細については、「Amazon EKS ユーザーガイド」の「Amazon [Elastic Kubernetes Service とは](#)」を参照してください。

AWS Lambda

AWS Lambda は、サーバーのプロビジョニングや管理を行わずにコードを実行できるようにするコンピューティングサービスです。は、必要な場合にのみコード AWS Lambda を実行し、1 日あたりのリクエスト数から 1 秒あたり数千件まで自動的にスケーリングします。使用したコンピューティング時間に対してのみお支払いいただきます- コードが実行中でなければ料金はかかりません。を使用すると AWS Lambda、ほぼすべてのタイプのアプリケーションまたはバックエンドサービスのコードを実行できます。すべて管理不要です。は、高可用性コンピューティングインフラストラクチャでコード AWS Lambda を実行し、サーバーとオペレーティングシステムのメンテナンス、容量のプロビジョニングと自動スケーリング、コードのモニタリングとログ記録など、コンピューティングリソースのすべての管理を実行します。

Lambda は Compute Savings Plans の対象となります。

Lambda の詳細については、「AWS Lambda デベロッパーガイド」の「[とは AWS Lambda](#)」を参照してください。

Amazon SageMaker

Amazon SageMaker はフルマネージド型機械学習サービスです。を使用すると SageMaker、データサイエンティストとデベロッパーは、機械学習モデルを迅速かつ簡単に構築してトレーニングし、本番環境対応のホスト環境に直接デプロイできます。

SageMaker は、探索と分析のためにデータソースに簡単にアクセスできるように統合された Jupyter オーサリングノートブックインスタンスを提供するため、サーバーを管理する必要はありません。また、一般的な機械学習アルゴリズムも使用できます。そうしたアルゴリズムは、分散環境できわめて大容量のデータに対しても効率良く実行できるよう最適化されています。

bring-your-own-algorithms および フレームワークのネイティブサポートにより、は特定のワークフローに合わせて調整できる柔軟な分散トレーニングオプション SageMaker を提供します。SageMaker Studio または SageMaker コンソールから数回のクリックでモデルを起動して、安全でスケーラブルな環境にモデルをデプロイします。

SageMaker は SageMaker Savings Plans の対象となります。

Amazon の詳細については SageMaker、[「Amazon デベロッパーガイド」の「Amazon とは SageMaker」](#)を参照してください。 SageMaker

Savings Plans のレコメンデーションについて

コストを削減するために、は、過去の使用状況に基づいてカスタマイズされた Savings Plans レコメンデーション AWS を提供します。これらの推奨事項に基づいて、削減できる項目とコミットメントの利用方法などを判断できます。

AWS アカウントのレコメンデーションを表示できます。を使用している場合は AWS Organizations、管理アカウントまたはメンバーアカウントレベルからレコメンデーションを表示できます。

Savings Plans 推奨事項を確認するには

1. にサインイン AWS Management Console し、<https://console.aws.amazon.com/cost-management/> で AWS コスト管理コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[推奨事項] を選択します。

レコメンデーションページの Savings Plans Savings Plans の選択の詳細が表示されます。レコメンデーションには、次の概要メトリクスが含まれます。

- 月別オンデマンド費用 - 選択した期間の使用量に基づいた推定オンデマンド支出。これには、計算時に所有しているすべてのアクティブな Savings Plans が含まれます。この値は、過去の使用量と現在の Savings Plans のコミットメントに基づく、オンデマンド支出の月別の額を表します。
- 推定月別支出額 — 推奨される Savings Plans のコミットメントに基づいて予測される支出。この値は、推奨されるコミットメントと、使用量 hour-to-hour の変動によりオンデマンドのままになると予測される使用量で構成されます。
- 推定月別削減額 - 推奨される Savings Plans を購入した場合での、選択した期間の使用量に基づく月別の純削減額。

Note

Savings Plans のレコメンデーションは、[AWS Cost Explorer API](#)から受け取ることもできます。

推奨事項の計算について

Savings Plans のレコメンデーションでは、選択した期間における使用状況を調べます。使用量に基づいて、その期間に追加の Savings Plans コミットメントを購入した場合の請求額が計算されます。最大の削減になる推定コミットメント値が特定され、推奨されます。

Important

- 推奨情報は使用状況を予測するものではありません。推奨事項は、選択したルックバック期間における使用量の履歴に基づいています。将来の使用量を反映するルックバック期間を必ず選択します。推奨事項はルックバック期間中の使用量に基づいているため、キューに登録されている購入や予定されている購入は、推奨事項で考慮されません。また、推奨事項は、即時の購入に対しても生成されますが、将来の購入に対しては生成されません。

レコメンデーションは、リザーブドインスタンスと Savings Plans の割引共有設定に基づいて計算されます。設定を確認または変更するには、「AWS Billing ユーザーガイド」の「[リザーブドインスタンスと Savings Plans の割引共有](#)」を参照してください。

- 管理アカウントレベルでの推奨事項は、リザーブドインスタンスまたは Savings Plans の割引共有が有効になっている AWS 組織内のすべてのアカウントでの使用状況を考慮して計算され、アカウント全体の節約を最大化するコミットメントを推奨します。メンバーアカウントの推奨事項は、独立した各アカウントでの削減を最大化するために、個人アカウントレベルで計算されます。
- 推奨事項は、ルックバック期間 (7 日、30 日、または 60 日) のオンデマンド平均支出が 1 時間あたり 0.10 USD の顧客を対象として生成されます。Savings Plans を最近購入した場合、Savings Plan を返却した場合、または Savings Plans が最近期限切れになった場合は、Savings Plans のレコメンデーションを更新して、現在の Savings Plans インベントリと最新の使用状況データを考慮してください。
- Compute and EC2 Instance Savings Plans のレコメンデーションは、同じ一連の使用状況を使用して作成されます。Compute Savings Plans と EC2 インスタンス Savings Plans の両方を購入して使用量をカバーすることはできますが、2 つのレコメンデーションセットを同時にまとめるわけではありません。
- 推奨事項は、「[Savings Plans による料金](#)」に記載されている Savings Plans の料金を使用して計算されます。

Savings Plans レコメンデーションのカスタマイズ

Savings Plans のレコメンデーションは、レコメンデーションページに表示されるパラメータを使用してカスタマイズできます。

Savings Plans 推奨事項をカスタマイズするには

1. <https://console.aws.amazon.com/cost-management/ホーム> で AWS コスト管理コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[推奨事項] を選択します。
3. Savings Plan sタイプ の場合は、Compute Savings Plans、EC2Instance Savings Plans 、または SageMaker Savings Plans を選択します。
4. Savings Plans 用語 を選択します。
5. [支払いオプション] を選択します。
6. 過去 に基づいて の日数を選択します。
7. (管理アカウントレベルのみ) リンクされたアカウントタブを選択し、レコメンデーションIDs の対象となるアカウントを選択します。
8. (オプション) プランを購入するには、希望するプランの横にあるチェックボックスをオンにし、[Savings Plans をカートに追加] を選択します。

選択内容をカスタマイズすると、それに応じて推奨事項が変わります。[AWS 推奨事項] セクションに、最適なオプションが表示されます。

Savings Plans レコメンデーションの詳細の表示

Savings Plans の推奨事項の詳細では、推奨される Savings Plans が、1 時間あたりのオンデマンドの費用、カバレッジ、使用率に及ぼす潜在的な影響を把握できます。各推奨事項は、選択した推奨事項パラメータ、現在の Savings Plans のインベントリ、ルックバック期間中のオンデマンド支出を考慮して、削減額を最大化するように設計されています。

Savings Plans の推奨事項の詳細を表示するには

1. <https://console.aws.amazon.com/cost-management/ホーム> で AWS コスト管理コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[推奨事項] を選択します。

3. レコメンデーションページの「Savings Plans」セクションで、特定の Savings Plan 「」を選択します。

[推奨事項の詳細] ページには、推奨されるコミットメントを購入した場合の影響を示す 3 つのシミュレートされたチャートが表示されます。

- オンデマンドの費用: 現在の Savings Plans のコミットメント、推奨される Savings Plans の購入、および残りのオンデマンド支出が表示されます。
- カバレッジ: 推奨される Savings Plans の購入前と購入後のカバレッジが表示されます。
- 使用率: 推奨される Savings Plans の購入の使用率が表示されます。

Note

[AWS Cost Explorer API](#)を使用して、推奨される Savings Plans の詳細を受け取ることもできます。

Savings Plans レコメンデーションのダウンロード

Savings Plans のレコメンデーションは CSV、ファイル形式でダウンロードできます。CSV ファイル形式は、レコメンデーションを確認または共有するのに役立ちます。

Savings Plans 推奨事項をダウンロードするには

1. <https://console.aws.amazon.com/cost-management/> ホーム で AWS コスト管理コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[推奨事項] を選択します。
3. Savings Plans」ページの「レコメンデーション」セクションで「ダウンロード」を選択します。 CSV

Note

特定の Savings Plan の推奨事項は、[推奨事項の詳細] ページからダウンロードすることもできます。

CSV フィールドの詳細

ダウンロードしたCSVファイルには以下の情報が含まれています。

- アカウント ID — メンバーアカウントの一意的識別子です。
- 提供する ID — 推奨事項の生成に使用される Savings Plans 料金の一意的識別子です。
- 1 時間ごとの購入へのコミットメント — 選択したパラメータに基づく、推奨される Savings Plans の時間単位のコミットメントです。
- 推定 Savings Plans の費用 — 選択した期間 (7 日、30 日、または 60 日) における、推奨される Savings Plans の購入後の推定費用の合計額です。
- 推定オンデマンドの費用 — 選択した期間 (7 日間、30 日間、または 60 日間) における、推奨される Savings Plans の購入後のオンデマンドの推定費用の合計額です。
- 現在の 1 時間あたりの平均オンデマンド費用 — 選択した期間に観測された 1 時間あたりの平均オンデマンド支出です。
- 現在の 1 時間あたりの最小オンデマンド費用 — 選択した期間に観測された 1 時間あたりの最小オンデマンド支出です。
- 現在の 1 時間あたりの最大オンデマンド費用 — 選択した期間に観測された 1 時間あたりの最大オンデマンド支出です。
- 推定平均使用率 — 現在の対象となるオンデマンドの費用に基づく、推奨される Savings Plans の推定使用率です。
- 推定月間削減額 — 過去の使用量と既に所有している Savings Plans に基づいた、Savings Plans の購入によって生じる推定削減額です。
- 推定削減率 — 現在の Savings Plans の対象となるオンデマンドの費用から、Savings Plans のコミットメントにより削減できる金額です。
- 推定 ROI - Savings Plan の推定投資収益率。これは、推定削減額を Savings Plans の費用で割って計算されます。

Savings Plans を購入する

Savings Plans には AWS Billing and Cost Management コンソールでアクセスできます。[推奨事項] ページまたは [Savings Plans の購入] ページから、選択した内容を Savings Plans カートに追加できます。[推奨事項] ページを使用して、過去の使用状況に基づいてカスタマイズした Savings Plans 推奨事項を確認することをお勧めします。

トピック

- [Savings Plans レコメンデーションの評価](#)
- [カスタム Savings Plan コミットメントの購入](#)
- [Savings Plans の購入をキューに登録する](#)
- [Savings Plans の購入の確認と確定](#)
- [購入した Savings Plan の返却](#)

Savings Plans レコメンデーションの評価

[推奨事項] ページにアクセスして、対象となる使用量に応じた削減に役立つ AWS が推奨する Savings Plans を確認できます。これらの推奨事項はいつでも更新できるため、削減に役立つ最適な Savings Plans を簡単に購入できます。アカウント向けに推奨される Savings Plans をカートに直接追加できます。[推奨事項] ページの表示方法や、推奨事項の計算方法の詳細については、「[Savings Plans のレコメンデーションについて](#)」を参照してください。

[推奨事項] ページから Savings Plans を購入するには

1. にサインイン AWS Management Console し、<https://console.aws.amazon.com/cost-management/>で AWS コスト管理コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[推奨事項] を選択します。
3. Savings Plans のレコメンデーションを更新して、最近の使用量と up-to-date Savings Plans インベントリを含めます。
4. [推奨事項パラメータ] セクションで、ご希望の Savings Plans タイプ、Savings Plans 期間、支払いオプション、ルックバック期間を選択します。
5. [推奨される Savings Plans] の表で、購入する Savings Plans の横にあるチェックボックスをオンにします。

Note

推奨されるコミットメントは、オンデマンド支出ではなく、Savings Plans の料金です。

- [Savings Plans をカートに追加] を選択します。

Note

メンバーアカウントの推奨事項については、メンバーアカウントオーナーのみが Savings Plans 推奨事項をカートに追加し、推奨事項の購入に進むことができます。

- (オプション) 今後の使用のために推奨購入をキューに入れるには、[Savings Plan](#) を参照してください。
- 購入を完了するには、左側のペインで [カート] を選択します。
- [カート] ページで注文を確認し、[注文書の送信] を選択します。

カートページの詳細については、[「Savings Plans 購入の確認と確定」](#) を参照してください。

カスタム Savings Plan コミットメントの購入

推奨されるコミットメント額と異なるコミットメント金額で Savings Plans を購入できます。購入 Savings Plans ページで任意のコミットメントを購入します。

Savings Plans を購入する

- <https://console.aws.amazon.com/cost-management/ホーム> で AWS コスト管理コンソールを開きます。
- ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[Savings Plans の購入] を選択します。
- Savings Plans タイプ で、Compute Savings Plans、EC2 Instance Savings Plans、または SageMaker Savings Plans を選択します。
- EC2 Instance Savings Plans では、リージョンとインスタンスファミリー を選択します。
- 期間 で、Savings Plans のコミットメント期間を選択します。
- 「購入コミットメント」の「時間単位のコミットメント」で、時間単位のコミットメント金額を入力します。

Note

時間単位のコミットメントは、Savings Plans の料金であり、オンデマンド支出ではありません。

7. Payment オプション で、All upfront 、Partial upfront 、No upfront のいずれかを選択します。
8. 一部前払いを選択した場合は、一部前払い金額を入力します。
9. (オプション) Savings Plans を将来の日付で開始するようにキューに登録するには、[開始日] を設定します。
10. [Add to cart] (カートに追加) を選択します。
11. [カート] ページで注文内容を確認し、[注文書の送信] を選択します。

Savings Plans の購入をキューに登録する

Savings Plans の購入を将来の日付で行うようにキューに登録することや、スケジュールを設定することができます。カバレッジを開始する正確な時刻を日付で指定できます。前払い料金または定期料金は、選択した開始日にキューに登録されている購入が処理された場合にのみ請求されます。このキューに入れられた購入は、開始日より前であればいつでも削除できます。

将来の Savings Plans の購入をキューに登録するには

1. <https://console.aws.amazon.com/cost-management/ホーム> で AWS コスト管理コンソールを開きます。
2. [Savings Plans の購入] ページまたは [推奨事項] ページから Savings Plans を追加します。

このプロセスについては、「[Savings Plans レコメンデーションの評価](#)」または「[カスタム Savings Plan コミットメントの購入](#)」を参照してください。

3. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[カート] を選択します。
4. Savings Plans を選択します。
5. [開始日を設定] を選択します。
6. [日付] と [時刻] を選択します。

3 年先までの将来の購入をキューに登録することができます。正確な秒を指定することもできます。過去の日付は適用されません。

Note

Savings Plans の購入は、開始日の時点で処理および検証され、開始日の同じ暦月内にすべての検証に合格し、請求される必要があります。Savings Plan の購入は、支払いに失敗したものとマークされ、プロセスがUTCタイムゾーンの月末までに完了しない場合、使用量を割引しません。

7. [確認] を選択します。
8. (オプション) 開始日をクリアするには、[開始日を設定] を選択します。
 - [開始日を削除] を選択します。
9. [注文書の送信] を選択します。

キューに登録されている購入はすべて、[アカウントインベントリ] ページに [キューに入れられました] というステータスで表示されます。キューに登録されている購入を、開始日より前に削除する方法については、「[キューに登録されている Savings Plans を削除する](#)」を参照してください。

Savings Plans の購入の確認と確定

Savings Plansの [カート] ページでは、購入準備が整うまでコミットメントが保管されます。

[カート] ページから購入を確認して確定するには

1. [https://console.aws.amazon.com/cost-management/ホーム](https://console.aws.amazon.com/cost-management/) で AWS コスト管理コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[カート] を選択します。
3. 注文を次のように確認します。
 - タイプ: Savings Plans のタイプです。詳細については、「[Savings Plans タイプ](#)」を参照してください。
 - 期間: コミットメント期間 (年単位) です。1 年または 3 年の期間を選択します。

Note

- 1 年: 1 年は 365 日 (31,536,000 秒) として定義されます。
- 3 年: 3 年は 1,095 日 (94,608,000 秒) として定義されます。

- リージョン : (EC2Instance Savings Plans にのみ適用されます) コミットする AWS リージョン。例えば、US East (N. Virginia) と指定します。
 - インスタンスタイプ : コミットするインスタンスファミリー (MM5, C5, R5, C5d など) (EC2Instance Savings Plans にのみ適用されます)。
 - 購入オプション: コミットメントの購入オプションです。[全額前払い]、[一部前払い]、または [前払いなし] から選択します。
 - 開始日 : コミットメントが購入される日時 (UTC)。デフォルトでは、日付は [今すぐ] に設定されています。これは、注文書を送信するとすぐに購入が完了することを示しています。
 - コミットメント: Savings Plans に関連する時間単位のコミットメント額で、Savings Plans 料金での期間です。
 - 前払い支払い: 選択した支払いオプションに従って、チェックアウト時に請求される料金の前払い分です。
 - 月額料金: Savings Plans の月額料金です。この料金は、プランの期間中に毎月請求されます。
 - 合計コスト: 選択した期間における Savings Plans の合計コミットメントです。これには、期間中の前払いと定期月額料金が含まれます。
4. [概要] セクションの以下の内容を確認します。
 - コミットメント総額: 開始日や支払いオプションに関係なく、現在カートに入っているすべての Savings Plans の費用の合計です。
 - 現在開始するコミットメント総額: [開始日] が [今すぐ] に設定されている Savings Plans の [前払い料金] の合計です。
 5. (オプション) 各アイテムを選択し、[カートから削除] を選択して、カートから Savings Plans を削除します。
 6. (オプション) 最初からやり直すには、[カートをクリア] を選択してすべてのアイテムを削除します。
 7. (オプション) [別の Savings Plan を追加] を選択して、新しいコミットメントを追加します。
 8. [注文書の送信] を選択します。

購入の完了時にエラーメッセージや失敗した試行が発生した場合は、お問い合わせください AWS Support。お問い合わせ方法の詳細については、「AWS Billing ユーザーガイド」の「[AWS Billing and Cost Managementのヘルプを利用する](#)」を参照してください。

購入した Savings Plan の返却

Savings Plan を購入すると、1 ~ 3 年間コミットメントを行います。ただし、Savings Plan s を購入し、修正する購入エラーをすばやく特定する場合、その期間は限られます。過去 7 日間および同じ暦月に購入した 1 時間あたりのコミットメントが 100 USD 以下の Savings Plan は、すべて返すことができます。暦月が終了 (UTC 時間) すると、これらの購入した Savings Plans は返されなくなります。

Savings Plan を返送すると、プランに対する前払い料金に対して 100% の返金を受け、返金は返送から 24 時間以内に請求書に反映されます。プランでカバーされた使用量は、オンデマンド料金で請求されるか、該当する場合は別の Savings Plan でカバーされます。

Savings Plan s は、コンソールを使用するか、AWS SDK/ を通じて ReturnSavingsPlan アクションを呼び出すことで返すことができます CLI。

アクティブな Savings Plans を返すには

1. <https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ホーム> で AWS Billing and Cost Management コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[インベントリ] を選択します。
3. Savings Plan s を選択して Savings Plan の詳細ページを開きます。
4. Return Savings Plan を選択します。

Note

Return Savings Plan s ボタンは、Savings Plan s が返品の対象となる場合にのみ、詳細ページに表示されます。

5. Return Savings Plan ダイアログボックスで、「Confirm return」を選択します。

Note

このアクションは元に戻すことができません。

返された Savings Plans は、コンソールの Savings Plans インベントリページで表示するか、AWS SDK/ の DescribeSavingsPlans アクションを呼び出して表示できます CLI。Returned Savings Plans は、ステータスが Returned で表示されます。

Savings Plan の返品制限

Savings Plans を返すリクエストを送信しても対象外である場合、次のいずれかの理由に関連するエラーが表示されます。

- 一括請求ファミリーの制限に達しました。1 つの AWS アカウントを使用している場合、そのアカウントの制限は満たされています。

クォータの詳細については、「[クォータと制限](#)」を参照してください。

- Savings Plan は「アクティブ」状態ではありません。有効化された Savings Plans のみを返すことができます。「支払い保留中」の Savings Plan を返すには、そのプランがアクティブになるまで待ちます。
- 時間単位のコミットメントが 100 ドルを超えています。
- リクエストは、アクセス許可が不十分なユーザーによって行われました。

Note

アクセス `savingsplans:returnSavingsPlan` 許可を持つルートユーザーまたは IAM ユーザーのみが、アカウントに Savings Plans を返すことができます。AWS 管理ポリシーには、そのアクセス許可 `AWSSavingsPlansFullAccess` が含まれます。

- Savings Plan は、別の月、または同じ月、7 日以上前に購入されました。
- Savings Plan は、全額前払いまたは一部前払いの Savings Plan であり、AWS ブラジルまたは AWS トルコで登録されています。

レコード販売者 (SOR) の詳細については、「[レコード販売者の検索](#)」を参照してください。

- 管理アカウントは、Savings Plan の購入時に使用する管理アカウントとは異なります。

節約の機会を理解する

AWS Cost Management コンソールの概要ページを使用して、潜在的な Savings Plans を表示できます。

Note

現在 Savings Plans を所有していない場合、[概要] ページには Savings Plans の仕組みの概要と、過去の使用量に基づいて推奨される Savings Plans の購入が表示されます。

Savings Plans の概要にアクセスするには

1. にサインイン AWS Management Console し、<https://console.aws.amazon.com/cost-management/> で AWS Cost Management コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインで、[Savings Plans] の [概要] を選択します。

コスト削減の機会は、過去に Savings Plans を購入したかどうかに応じて、[その他の割引サービス] または [割引サービス] に表示されます。

推奨事項の詳細を確認するには、[推奨される Savings Plans を表示] を選択します。Savings Plans 推奨事項の計算方法の詳細については、「[Savings Plans のレコメンデーションについて](#)」を参照してください。

Savings Plans の詳細の表示

Savings Plans を購入すると、[概要] ページに [詳細] セクションが表示されます。[詳細] セクションには、購入した Savings Plans に関連する以下のメトリクスが表示されます。

- タイプ — Savings Plans のタイプごとにサマリーを決定します。
- MTD/YTD plans – 選択した期間中にアクティブだった Savings Plans の数。
- MTD/YTD コミットメント – 選択した期間に償却されたコミットメントの合計。
- MTD/YTD 使用率 – 選択した期間の平均使用率。
- MTD/YTD Savings – 選択した期間中の Savings Plans による総節約額。

所有している Savings Plans の詳細を表示するには、[詳細] セクションで [すべて表示] を選択するか、左側のナビゲーションペインで [インベントリ] を選択します。

Savings Plans アラートの管理

Cost Explorer では、Savings Plans の有効期限と、キューに登録されている将来の Savings Plans を追跡することができます。Savings Plans アラートを使用すると、Savings Plan の有効期限の 1 日前、7 日前、30 日前、60 日前、またはコミットメントが購入用にキューに登録されているときに、事前のメールアラートを受け取ることができます。この通知により、有効期限日でもアラートを受け取ることができ、最大 10 人の E メール受信者に送信できます。

Savings Plans のアラートサブスクリプションを管理する方法については、「AWS Billing ユーザーガイド」の「[予約アラートと Savings Plans アラートの表示、作成、更新、削除](#)」を参照してください。

Savings Plans の有効期限またはキューに登録されている購入に関するアラートをオンにするには

1. <https://console.aws.amazon.com/cost-management/ホーム> で AWS Cost Management コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインで、[Savings Plans] の [概要] を選択します。
3. [アラートサブスクリプションを管理] をクリックします。
4. [アラート頻度] セクションで、アラートを受け取る日をすべて選択します。
5. [Eメールの受信者] セクションに、受信者のメールアドレスを入力します。
6. [Save] を選択します。

AWS Savings Plans の設定をモニタリングし、設定に従ってアラートを自動的に送信します。

Savings Plans のモニタリング

モニタリングは、Savings Plans の使用において重要な部分です。所有している Savings Plans、その使用状況、および対象となる使用状況を理解することは、Savings Plans でコストを最適化する上で重要な部分です。Savings Plans Inventory ページまたは使用率とカバレッジレポートを使用して、使用状況をモニタリングできます。Savings Plans の使用率、カバレッジ、コストの予算を設定することもできます。

トピック

- [Savings Plans インベントリの表示](#)
- [Savings Plans 使用率レポートの使用](#)
- [Savings Plans カバレッジレポートの使用](#)
- [Savings Plans の予算の使用](#)

Savings Plans インベントリの表示

Savings Plans のインベントリページには、所有している、または将来購入が登録されている Savings Plans の詳細な概要が表示されます。

のメンバーアカウントのユーザーは AWS Organizations、特定のメンバーアカウントが所有する Savings Plans を表示できます。組織の管理アカウントのユーザーである場合は、管理アカウントのみが所有する Savings Plans を表示するか、組織内のすべてのアカウントが所有する Savings Plans を表示できます。[アカウントインベントリ] または [組織インベントリ] を選択してビューを変更できます。

Note

最近購入した Savings Plans は、購入後すぐにアカウントインベントリに表示されません。Savings Plans が組織インベントリビューに表示されるまでに時間がかかる場合があります。

[インベントリ] ページを表示するには

1. [https://console.aws.amazon.com/cost-management/ホーム](https://console.aws.amazon.com/cost-management/) で AWS コスト管理コンソールを開きます。

2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[インベントリ] を選択します。

Savings Plans 表には、購入した Savings Plans に関する以下の情報が表示されます。

- Savings Plan ID — 個々の Savings Plans の一意の識別子です。
- アカウント ID — 特定の Savings Plans を所有するアカウント ID です。この列は、[組織インベントリ] ビューにのみ表示されます。
- ステータス — 各 Savings Plans のステータスです。例えば、アクティブ、登録されているなどです。
- タイプ — Savings Plans のタイプです。
- インスタンスファミリー — Savings Plans の対象となるインスタンスファミリーです。これは EC2、インスタンス Savings Plans タイプにのみ適用されます。
- リージョン — Savings Plan がコミットされている AWS リージョン。これは EC2、Instance Savings Plans タイプにのみ適用されます。
- コミットメント — 特定の Savings Plans に対して 1 時間あたりでコミットされた支出額です。
- MTD net savings — 特定の Savings Plan コミットメントの使用に基づく、オンデマンドと比較した実際の節約額。この列は、[組織インベントリ] ビューにのみ表示されます。
- 開始日 — Savings Plans のコミットメントが開始された日付です。
- 終了日 — Savings Plans のコミットメントが終了する日付です。

Savings Plan の更新


アクティブな Savings Plans の有効期限が近づいている場合は、アクティブな Savings Plans の有効期限が切れるとすぐに購入を開始するようにキューに登録することができます。これにより、Savings Plans の継続的なカバレッジが保証されます。

Savings Plans の購入をキューに登録して、期限切れになる Savings Plans を置き換えるには

1. [https://console.aws.amazon.com/cost-management/ホーム](https://console.aws.amazon.com/cost-management/) で AWS コスト管理コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[インベントリ] を選択します。
3. チェックボックスを使用して、参照 Savings Plans を選択します。

一度に選択できる Savings Plans は 1 つだけです。選択した Savings Plans はアクティブステータスでなければなりません。

4. [アクション] を選択します。
5. [Savings Plan を更新する] を選択します。
6. (または) 参照 Savings Plans を選択します。
 - [Savings Plan の詳細] ページで、[Savings Plan を更新する] を選択します。

 Note

[Savings Plan を更新する] によって、同じ設定でプランが更新され、料金は、現在の Savings Plans の料金を使用して請求されます。これにより、新しい Savings Plans の開始日は、参照 Savings Plans の有効期限の 1 秒後に自動的に設定されます。

参照 Savings Plans を購入した時点からの使用量または Savings Plans の料金の变化に応じて、コミットメント額を変更したい場合があります。

7. [カート] ページで [注文書の送信] を選択します。

[カート] ページの詳細については、「[Savings Plans の購入の確認と確定](#)」を参照してください。

キューに登録されている Savings Plans を削除する

キューに登録されている Savings Plans を使用すると、オンデマンドの使用量を引き続きカバーできます。ただし、開始日が近づくにつれ、お客様の希望が変わる可能性があることは承知しています。次の手順を使用して、キューに登録されている購入分を削除できます。

キューに登録されている Savings Plans の購入分を削除するには

1. <https://console.aws.amazon.com/cost-management/ホーム> で AWS コスト管理コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインで、[Savings Plans] セクションの [インベントリ] を選択します。
3. 削除するキューに登録されている Savings Plans を選択します。

ステータスは「Queued」とマークされている必要があります。

4. [アクション] を選択します。
5. [キューに登録された Savings Plans を削除する] を選択します。
6. (または) キューに登録されている Savings Plans を選択します。

- [Savings Plan の詳細] ページで、[キューに登録された Savings Plans を削除する] を選択します。

7. ポップアップウィンドウで、[削除] を選択します。

Savings Plans 料金のダウンロード

所有する Savings Plan の詳細を含む CSV ファイルをダウンロードすることができます。Compute Savings Plans では、ファイルのダウンロードに時間がかかる場合があります。

Savings Plans の料金ファイルをダウンロードするには

1. <https://console.aws.amazon.com/cost-management/ホーム> で AWS コスト管理コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[インベントリ] を選択します。
3. [Savings Plans] セクションで、[Savings Plans ID] を選択します。
4. [Savings Plans の詳細] ページで、[Savings Plans の料金をダウンロード] を選択します。

Savings Plans レートは、AWS Price List 一括を使用してダウンロードすることもできます API。詳細については、「[ユーザーガイド](#)」の「[一括の使用API](#)」を参照してください。AWS Billing

Savings Plans のインベントリのダウンロード

Savings Plans テーブルの Savings Plans のすべての詳細情報を含む CSV ファイルをダウンロードすることができます。

Savings Plans のインベントリファイルをダウンロードするには

1. <https://console.aws.amazon.com/cost-management/ホーム> で AWS コスト管理コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[インベントリ] を選択します。
3. Savings Plans セクションで、「ダウンロード CSV」を選択します。

インベントリページですべての Savings Plans をダウンロードするか、CSV ファイルをダウンロードする前に任意の数の Savings Plans を選択できます。

Savings Plans 使用率レポートの使用

Savings Plans の使用率には、Savings Plans のコミットメントのうちオンデマンド使用量全体で使っている割合が表示されます。Savings Plans の使用率レポートを使用すると、設定した期間の使用量に Savings Plans がどのように適用されるかを視覚的に把握できます。レポートには、視覚化されたグラフのほか、選択した Savings Plans、フィルター、ルックバック期間に基づく大まかなメトリクスが表示されます。使用率は、ルックバック期間中に Savings Plans がどのように使用量に適用されたかに基づいて計算されます。

例えば、1 時間あたり 10 USD のコミットメントがあり、Savings Plans の料金で請求される使用量が 1 時間あたり合計 9.80 USD の場合、その時間の使用率は 98% になります。

使用率レポートを表示するには

1. [https://console.aws.amazon.com/cost-management/ホーム](https://console.aws.amazon.com/cost-management/) で AWS コスト管理コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[インベントリ] を選択します。
3. [Savings Plans] セクションで、関連する [Savings Plan ID] を選択します。
4. [Savings Plan の詳細] で、[使用状況レポートを表示] を選択します。

使用率メトリクスと計算について

大まかなメトリクスは、[使用状況レポート] セクションで確認できます。

- オンデマンド費用同等額 — Savings Plans にコミットしていなかったならば同じ使用量に対して費やしたであろう金額です。この金額は、現在のオンデマンド料金に基づく同等のオンデマンドの費用です。
- Savings Plans の支出 — ルックバック期間中の Savings Plans のコミットメント支出額です。
- 合計純削減額 — 選択した期間に Savings Plans のコミットメントを使用して削減した金額を、オンデマンドの費用の推定額と比較したものです。

Savings Plans の使用率は、ルックバック期間に基づいて、時間単位、日単位、または月単位で確認できます。[フィルター] セクションでは、メンバーアカウント、AWS リージョン、Savings Plans タイプ、インスタンスファミリーごとにフィルターをカスタマイズできます。

管理アカウントのユーザーであれば、一括請求ファミリー全体の利用状況を集計して確認できます。

Savings Plans 使用率レポートのダウンロード

Savings Plans 使用率レポートデータのCSVファイルをダウンロードできます。

使用率レポートをダウンロードするには

1. <https://console.aws.amazon.com/cost-management/ホーム> で AWS コスト管理コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[使用状況レポート] を選択します。
3. 使用率レポートページで、チャートのダウンロード (CSV) を選択します。

Savings Plans カバレッジレポートの使用

Savings Plans のカバレッジレポートには、選択した期間に基づいて、対象となる支出のうち Savings Plans でカバーされた金額が表示されます。

使用率レポートを表示するには

1. <https://console.aws.amazon.com/cost-management/ホーム> で AWS コスト管理コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[インベントリ] を選択します。
3. [Savings Plans] セクションで、関連する [Savings Plan ID] を選択します。
4. [Savings Plan の詳細] で、[使用状況レポートを表示] を選択します。

カバレッジメトリクスと計算について

[カバレッジレポート] セクションには、以下の大まかなメトリクスが表示されます。

- 平均カバレッジ — 選択したフィルターとルックバック期間に基づいて集計された Savings Plans のカバレッジ率です。
- 潜在的な月額削減額とオンデマンド — Savings Plans 推奨事項に基づく潜在的な削減額です。これは月額として表示されます。
- オンデマンド支出は対象外 — ルックバック期間中に Savings Plans またはリザーブドインスタンスでカバーされなかった対象となる削減支出の金額です。

カバレッジは次のように計算されます。

(Savings Plans の対象となる使用量と同等のオンデマンド)

÷

(Savings Plans でカバーされるオンデマンド相当の使用量 + オンデマンド料金で請求された Savings Plans の対象金額)

例えば、1 時間あたり 1.00 USD のオンデマンド料金で 10 個の同じインスタンスを実行していて、実行している 10 個のインスタンスのうち 9 個が Savings Plans のコミットメントの対象になっている場合、カバレッジは 90% になります。

(9 つの Savings Plans 対象インスタンス x 1 時間あたり 1.00 USD の OD レート)

÷

(9 つの Savings Plans 対象インスタンス x 1 時間あたり 1.00 USD OD レート + 1 オンデマンドインスタンス x 1 時間あたり 1.00 USD の OD レート)

使用量は、時間単位、日単位、または月単位できめ細かく確認できます。使用量は、選択したルックバック期間を使用して計算されます。フィルターセクションで、メンバーアカウント、AWS リージョン、インスタンスファミリー、サービス、コストカテゴリ別にフィルターをカスタマイズできます。

管理アカウントのユーザーは、一括請求ファミリー全体のカバレッジを集計して確認できます。

Savings Plans カバレッジレポートのダウンロード

Savings Plans カバレッジレポートデータの CSV ファイルをダウンロードできます。

カバレッジレポートをダウンロードするには

1. [https://console.aws.amazon.com/cost-management/ホーム](https://console.aws.amazon.com/cost-management/) で AWS コスト管理コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[カバレッジレポート] を選択します。
3. カバレッジレポートページで、チャートのダウンロード (CSV) を選択します。

Savings Plans の予算の使用

AWS Budgets を使用して、Savings Plan の使用率、カバレッジ、コストの予算を設定できます。を通じて最適化を続けると、コストを追跡できます AWS。

Savings Plans の予算は、次の 2 つの方法で作成および設定できます。

- [テンプレートの使用 \(簡略化\)](#)
- [予算のカスタマイズ \(アドバンス\)](#)

詳細については、[「コスト管理ユーザーガイド」の AWS 「予算によるコストの管理」](#)を参照してください。AWS

テンプレートを使用して Savings Plans 予算を作成する

以下の手順に従い、テンプレートを使用して Savings Plans のカバレッジ予算を作成します。

推奨設定のテンプレートを使用して予算を作成できます。Budget テンプレートは、AWS 予算の[カスタマイズ \(アドバンスド\)](#)に必要な 5 ステップのワークフローとは異なり、1 ページのワークフローで Budgets の使用を開始する簡単な方法です。

テンプレートを使用して Savings Plans カバレッジ予算を作成するには

1. にサインイン AWS Management Console し、<https://console.aws.amazon.com/cost-management/>で AWS コスト管理コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインで、[Budgets] を選択します。
3. ページの上部で、[Create budget] を選択します。
4. [予算設定] で、[テンプレートを使用 (シンプル)] を選択します。
5. [テンプレート] で、[日次の Savings Plans のカバレッジ予算] を選択します。
6. [予算名] で、予算の名前を入力します。予算名はアカウント内で一意であることが必要で、A~Z、a~z、スペース、および次の文字を使用できます。

_./!/+-%@
7. カバレッジしきい値には、AWS 通知するカバレッジの割合を入力します。例えば、80% を超えるように維持する場合のカバレッジ予算では、「80」と入力します。全体のカバレッジが 80% を下回ると、通知されます。
8. [Eメールの受信者] で、通知の送信先の E メールアドレスを入力します。複数の E メールアドレスを入力する場合は、カンマで区切ります。通知には、最大 10 個の E メールアドレスを関連付けることができます。
9. [予算の作成] をクリックします。

Savings Plans 予算のカスタマイズ

次の手順を使用して、Savings Plans の使用率や Savings Plans カバレッジのカスタマイズされた予算を作成します。

予算をカスタマイズして、ユースケースに固有のパラメータを設定できます。期間、開始月、特定のアカウントをカスタマイズできます。カスタマイズされた予算を作成するには、5つのステップのワークフローが必要です。

Savings Plans 予算を作成するには

1. にサインイン AWS Management Console し、[https://console.aws.amazon.com/cost-management/ホーム](https://console.aws.amazon.com/cost-management/) で AWS コスト管理コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインで、[Budgets] を選択します。
3. ページの上部で、[Create budget] を選択します。
4. [Budget setup] (予算の設定) で、[Customize (advanced)] (カスタマイズ (高度)) を選択します。
5. [Budget types] (予算タイプ) で、[Savings Plans budget] (Savings Plans の予算) を選択します。
6. [Next (次へ)] を選択します。
7. [予算名] で、予算の名前を入力します。予算名はアカウント内で一意であることが必要で、A~Z、a~z、スペース、および次の文字を使用できます。

_.:/=+-%@

8. [期間] で、実際の使用量と予測される使用量を予算でリセットする頻度を選択します。毎日の場合は [日別]、毎月の場合は [月別]、3 か月ごとの場合は [四半期単位]、または毎年の場合は [年単位] を選択します。すべての予算時間は にありますUTC。
9. [支出のモニタリング] で、追跡する予算を選択します。

Savings Plans の使用率は、使用した Savings Plans の程度を指します。

Savings Plans のカバレッジは、Savings Plans がカバーする使用量です。

10. 使用率しきい値 には、AWS 通知する使用率の割合を入力します。例えば、使用率の予算で Savings Plans の使用率が 90% を超えるように維持する場合は、「**90**」と入力すると、Savings Plans 全体の使用率が 90% を下回ったときに通知されます。
11. カバレッジしきい値 には、AWS 通知するカバレッジの割合を入力します。例えば、80% を超えるように維持する場合のカバレッジ予算では、「**80**」と入力します。全体のカバレッジが 80% を下回ると、通知されます。

12. [予算の範囲] に、[\[フィルター\]](#) を追加し、詳細オプションを使用して、予算の一部として追跡される費用情報を絞り込みます。
13. [Next (次へ)] を選択します。
14. アラート設定で、予算アラートを E メールまたは Amazon SNS トピックで送信するかどうかを選択します。
15. [Eメールの受信者] で、通知の送信先の E メールアドレスを入力します。複数の E メールアドレスを入力する場合は、カンマで区切ります。通知には、最大 10 個の E メールアドレスを関連付けることができます。
16. (オプション) Amazon の場合は、Amazon SNS ARNSNS トピックの Amazon リソースネーム (ARN) を入力します。

通知に Amazon SNS トピックを使用するが、トピックがない場合は、「Amazon Simple Notification Service デベロッパーガイド」の[「トピックの作成」](#)を参照してください。

AWS は、Amazon SNS トピックにテスト E メールを送信することで、Amazon SNS トピックに通知を送信するアクセス許可が予算にあることを確認します。

予算許可を付与するポリシーと手順の例については、[「予算通知用の Amazon SNS トピックの作成」](#)を参照してください。通知は、1 つの Amazon SNS トピックにのみサブスクライブできます。

17. [Next (次へ)] を選択します。
18. [予算を作成] をクリックします。

Savings Plans が の使用に適用される仕組みを理解する

アクティブな Savings Plans がある場合、対象となる AWS 使用量に自動的に適用され、請求額が削減されます。

Savings Plans を用いた場合の請求額の計算

Savings Plans は、Amazon EC2 リザーブドインスタンス (RI) が適用された後の使用に適用されません。

現在の Savings Plans は、グループ化されており、対象となる使用に適用されます。EC2 Compute Savings Plans は適用性が広いため、インスタンス Savings Plans は Compute Savings Plans の前に適用されます。Compute Savings Plans

一括請求ファミリーでは、Savings Plans は、まず所有者アカウントの使用に適用され、次に他のアカウントの使用に適用されます。これは共有が有効になっている場合にのみ発生します。

対象となる使用の組み合わせごとに、潜在的な削減率を計算します。この割合は、Savings Plans の料金と現在のオンデマンド料金を比較したものです。Savings Plans は、削減率が最も高いものがまず適用されます。削減率が等しい使用が複数ある場合、Savings Plans は、Savings Plans の割合が最も低い使用にまず適用されます。Savings Plans は、残りの使用分がなくなるか、コミットメントがなくなるまで引き続き適用されます。残りの使用はオンデマンド価格で課金されます。

Savings Plans の例

これらの例に示されている料金はあくまで例示的なものです。この例では、1 時間に以下の使用がなされたものとしします。

- r5.4xlarge Linux x 4、us-east-1 での共有テナンシーインスタンス、1 時間稼働
- m5.24xlarge Windows x 1、us-east-1 での専有テナンシーインスタンス、1 時間稼働
- us-west-1 での 400 vCPU と 1,600 GB の Fargate 使用量
- us-east-2 の 512 MB (0.5 GB) AWS Lambda メモリの使用に対して 100 万リクエスト、各 3 秒間持続

料金の例

	オンデマンド 料金	Compute Savings Plans の料金	削減率 (オン デマンド比)	EC2 Instance Savings Plans レート	削減率 (オン デマンド比)
r5.4xlarge Linux	1.00 ドル	\$0.70	30%	\$0.60	40%
Fargate vCPU	\$0.04	\$0.03	25%	該当なし	該当なし
Fargate GB	\$0.004	\$0.003	25%	該当なし	該当なし
m5.24xlarge Windows	\$10.00	8.20 ドル	18%	\$7.80	22%
Lambda 時間 (GB/秒あた り)	\$0.000015	\$0.00001275	15%	該当なし	該当なし
Lambda リク エスト (100 万リクエスト あたり)	\$0.20	\$0.20	0%	該当なし	該当なし

この例では、使用の構成に一致する一部前払いの Savings Plans (期間 1 年間) と仮定しています。簡略化のため、料金と削減率は仮定のものです。

シナリオ例

- [シナリオ 1: Savings Plans をすべての使用に適用する](#)
- [シナリオ 2: Savings Plans を一部の使用に適用する](#)
- [シナリオ 3: Savings Plans が製品全体の一部の使用に適用する](#)
- [シナリオ 4: Savings Plans と EC2 リザーブドインスタンスが使用状況に適用される](#)
- [シナリオ 5: 複数の Savings Plans を使用に適用する](#)

シナリオ 1: Savings Plans をすべての使用に適用する

1 年間の一部前払いの Compute Savings Plans を 1 時間あたり 50.00 USD のコミットメントで購入するとします。

各使用量と同等の Compute Savings Plans を掛けると 47.13 USD になるため、この Savings Plans はすべての使用量をカバーします。それでも 1 時間あたり 50.00 USD のコミットメントを下回っています。

Savings Plans がない場合は、59.10 USD のオンデマンド料金で請求されます。

シナリオ 2: Savings Plans を一部の使用に適用する

1 年間の一部前払いの Compute Savings Plans を 1 時間あたり 2.00 USD のコミットメントで購入するとします。

どの時間でも、削減率最も高い (30% の) Savings Plans から順にお客様の使用量に適用されます。

1 時間あたり 2.00 USD のコミットメントにより、この使用量のうち約 2.9 ユニットがカバーされます。残りの 1.1 ユニットはオンデマンド料金で請求されるため、r5 のオンデマンド料金は 1.14 USD になります。

Fargate m5.24xlarge と Lambda の使用量もオンデマンド料金で請求されるため、55.10 USD のオンデマンド料金が発生します。この使用のオンデマンド料金の合計は 56.24 USD です。

シナリオ 3: Savings Plans が製品全体の一部の使用に適用する

1 年間の一部前払いの Compute Savings Plans を 1 時間あたり 19.60 USD のコミットメントで購入するとします。

削減率が最も高い (30% である) ため、最初に Savings Plans が r5.4xlarge に適用されます。

削減率が次に高い (25% である) ため、次に Savings Plans が Fargate の使用に適用されます。Savings Plans は Savings Plans レートが低いため、コンピューティング (v) 前のメモリ (GBCPU) に適用されます。1 時間あたりの 19.60 USD のコミットメントが満たされ、残りの使用量はオンデマンド料金で請求されます。

m5.24xlarge と Lambda の使用量に対するオンデマンド料金は 32.70 USD です。

シナリオ 4: Savings Plans と EC2 リザーブドインスタンスが使用状況に適用される

1 年間の一部前払いの Compute Savings Plans を 1 時間あたり 18.20 USD のコミットメントで購入するとします。us-east-1 には r5.4xlarge Linux 共有テナンシー用の 2 つの EC2 リザーブドインスタンス (RI) があります。

まず、RI は 2 つの r5.4xlarge インスタンスをカバーします。次に、Savings Plans の料金が残りの r5.4xlarge と Fargate の使用に適用されます。これにより、1 時間あたりのコミットメントである 18.20 USD が使い果たされます。

m5.24xlarge および Lambda の使用に対するオンデマンド料金は 32.70 USD です。

シナリオ 5: 複数の Savings Plans を使用に適用する

us-east-1 EC2 の r5 ファミリーには、1 年分の前払いインスタンスファミリー Savings Plan の一部を購入し、1 時間あたり 3.00 USD のコミットメントを支払います。また、1 時間あたり 16.80 USD のコミットメントによる、1 年間の一部前払いの Compute Savings Plans もあります。

EC2 Instance Family Savings Plan s(r5、us-east-1) は、r5.4xlarge 使用量に EC2 Instance Family Savings Plan のレートを掛けると 2.40 USD になるため、すべての使用量を対象としています。これは 1 時間あたり 3.00 USD のコミットメントを下回ります。

次に、残りの使用量の削減率が最も高い (25% である) Fargate の使用量に Compute Savings Plans が適用されます。Savings Plans は、メモリの Savings Plans レートが低いため、コンピューティング (v) 前のメモリ (GBCPU) に適用されます。1 時間あたりの 16.80 USD のコミットメントが満たされ、残りの使用量はオンデマンド料金で請求されます。

m5.24xlarge および Lambda の使用に対するオンデマンド料金は 32.70 USD です。

詳細については、「AWS Billing and Cost Management ユーザーガイド」の「[一括請求について](#)」を参照してください。

Amazon による Savings Plans の自動化 EventBridge

EventBridge は、AWS サービスを自動化し、アプリケーションの可用性の問題やリソースの変更などのシステムイベントに自動的に応答するのに役立ちます。AWS サービスからのイベントは、ほぼリアルタイムで EventBridge に配信されます。イベントは、ベストエフォートベースで出力されます。作成するルールに基づいて、は、イベントがルールで指定した値と一致するときに 1 つ以上のターゲットアクションを EventBridge 呼び出します。

自動的にトリガーできるオペレーションには、以下が含まれます。

- AWS Lambda 関数の呼び出し
- Amazon EC2 Run コマンドの呼び出し
- Amazon Kinesis Data Streams へのイベントの中継
- AWS Step Functions ステートマシンのアクティブ化
- Amazon SNS トピックまたは AWS SMS キューの通知

Savings Plans で CloudWatch Events を使用する例には、次のようなものがあります。

- Savings Plans の廃止時に Lambda 関数をアクティブにする。
- Savings Plan が `payment-failed` または とマークされたときに Amazon SNS トピックに通知する `active`。

詳細については、[「Amazon CloudWatch Events ユーザーガイド」](#)を参照してください。

Savings Plans からのイベント例

このセクションでは、Savings Plans からのイベント例を示します。Savings Plans では、2 種類のイベントが生成されます。状態の変更をきっかけにトリガーされる状態変更イベントと、1 日または 7 日後に予定されている状態の変更を通知する状態変更アラートイベントです。

Savings Plans 状態変更イベント

Savings Plans の状態変更は、Savings Plans がある状態から別の状態に移行したときに生成されます。例えば、`payment-pending` 状態が `active` に変更になるときや、`active` 状態が `retired` に変更になるときです。

```

{"version": "0",
 "id": "999cccaa-eaaa-0000-1111-123456789012",
 "detail-type": "Savings Plans State Change",
 "source": "aws.savingsplans",
 "account": "123456789012",
 "time": "2020-09-16T20:43:05Z",
 "region": "us-east-1",
 "resources": ["arn:aws:savingsplans::123456789012:savingsplan/07ec53ab-91c3-4ac5-bde6-79fd53192252"],
 "detail": {
   "severity": "INFO",
   "previousState": "payment-pending",
   "currentState": "active",
   "message": "PaymentSuccessful"
 }
}

```

状態変更イベントには、リソース (Savings Plans ARNs)、以前の状態、現在の状態、重要度、メッセージのフィールドが含まれます。

状態変更イベントに指定できる値

previousState	currentState	severity	message
queued	payment-pending	INFO	QueuedPurchaseFulfillment
queued	payment-failed	ERROR	LimitExceededException または SavingsPlanOfferingNotAvailableException
queued	queued-deleted	INFO	SavingsPlanQueuedDeleted

previousState	currentState	severity	message
payment-pending	ACTIVE	INFO	PaymentSuccessful
payment-pending	payment-failed	ERROR	LimitExceededException または PaymentUnsuccessful
ACTIVE	retired	INFO	SavingsPlanExpiration
ACTIVE	保留中のリターン	INFO	SavingsPlanReturnRequested
保留中のリターン	が返されました	INFO	SavingsPlanReturnSuccessful
保留中のリターン	ACTIVE	ERROR	SavingsPlanReturnUnsuccessful

Savings Plans の状態変更アラートイベント

Savings Plans の状態変更アラートは、Savings Plans が 1 日後または 7 日後に `queued` 状態から `active` に、または `active` から `retired` に移行するときに生成されます。これは、Savings Plans が廃止される場合や、キューに登録された状態が満たされた場合に通知する事前通知です。

```
{
  "version": "0",
  "id": "999cccaa-eaaa-0000-1111-123456789012",
  "detail-type": "Savings Plans State Change Alert",
  "source": "aws.savingsplans",
  "account": "123456789012",
}
```

```

"time": "2020-09-16T00:15:00Z",
"region": "us-east-1",
"resources": ["arn:aws:savingsplans::123456789012:savingsplan/07ec53ab-91c3-4ac5-
bde6-79fd53192252",

"arn:aws:savingsplans::123456789012:savingsplan/19a9fa12-911a-18ed-9aa1-3a2615149a14"],
"detail": {
  "currentState" : "queued",
  "nextState": "active",
  "remainingdays" : "1",
  "nextStateChangeDate" : "2020-09-17",
  "message": "queued savings plans will go to active state on 2020-09-17"
}
}

```

状態変更アラートイベントには、リソース (Savings Plans ARNs)、現在の状態、次の状態、残りの日数、次の状態変更日、メッセージのフィールドが含まれます。

状態変化アラートイベントに指定できる値

currentState	nextState	remaining Days	message
queued	ACTIVE	1	キューに登録されている Savings Plans は、YYYY-MM-DD でアクティブ状態になります。
queued	ACTIVE	7	キューに登録されている Savings Plans は、YYYY-MM-DD でアクティブ状態になります。
ACTIVE	retired	1	アクティブな Savings Plans は、YYYY-MM-DD で廃止状態になります。
ACTIVE	retired	7	アクティブな Savings Plans は、YYYY-MM-DD で廃止状態になります。

Savings Plans 用の Identity and Access Management

AWS Identity and Access Management (IAM) は、管理者が AWS リソースへのアクセスを安全に制御するのに役立つ AWS サービスです。管理者は、ユーザーが引き受けることができる AWS アカウントの下にロールを作成できます。AWS リソースを使用してタスクを実行するためにユーザーが持つアクセス許可を制御します。追加料金IAMなしでを使用できます。

デフォルトでは、ユーザーには Savings Plans のリソースおよびオペレーションのためのアクセス許可がありません。Savings Plans のリソースをユーザーが管理できるようにするには、ユーザーにアクセス許可を委任するロールを作成する必要があります。[「ユーザーガイド」の「ユーザーのロールを作成する」](#)の手順に従います。IAM

ポリシーの構造

IAM ポリシーは、1 つ以上のステートメントで構成される JSON ドキュメントです。各ステートメントは次のように構成されます。

```
{
  "Statement": [{
    "Effect": "effect",
    "Action": "action",
    "Resource": "arn",
    "Condition": {
      "condition": {
        "key": "value"
      }
    }
  ]
}
```

ステートメントはさまざまなエレメントで構成されます。

- **Effect:** *effect* は、Allow または Deny にすることができます。デフォルトでは、ユーザーにはリソースと API アクションを使用するアクセス許可がないため、すべてのリクエストは拒否されます。明示的な許可はデフォルトに上書きされます。明示的な拒否はすべての許可に上書きされます。
- **アクション:** アクションは、アクセス許可を付与または拒否する特定の API アクションです。

- Resource] (リソース): アクションによって影響を及ぼされるリソースです。Amazon EC2APIアクションによっては、アクションによって作成または変更できる特定のリソースをポリシーに含めることができます。ステートメントでリソースを指定するには、その Amazon リソースネーム () を使用する必要がありますARN。詳細については、「[Savings Plans によって定義されるアクション](#)」を参照してください。
- Condition] (条件): condition はオプションです。ポリシーの発効条件を指定するために使用します。詳細については、「[Savings Plans の条件キー](#)」を参照してください。

AWS マネージドポリシー

によって作成された マネージドポリシーは、一般的なユースケースに必要なアクセス許可 AWS を付与します。ユーザーが引き受けることができるロールを作成したら、必要なアクセス権限に基づいてポリシーをアタッチできます。各ポリシーは、Savings Plans のAPIアクションのすべてまたは一部へのアクセスを許可します。

Savings Plans の管理 AWS ポリシーは次のとおりです。

- AWSSavingsPlansFullAccess– Savings Plans へのフルアクセスを付与します。
- AWSSavingsPlansReadOnlyAccess– Savings Plans への読み取り専用アクセスを付与します。

ポリシーの例

IAM ポリシーステートメントでは、 をサポートする任意のサービスから任意のAPIアクションを指定できますIAM。Savings Plans の場合、APIアクションの名前に次のプレフィックスを使用します: savingsplans:。例:

- savingsplans:CreateSavingsPlan
- savingsplans:DescribeSavingsPlans

単一のステートメントで複数のアクションを指定するには、次のようにカンマで区切ります。

```
"Action": ["savingsplans:action1", "savingsplans:action2"]
```

ワイルドカードを使用して複数のアクションを指定することもできます。例えば、名前が「Describe」で始まるすべての Savings Plans APIアクションを次のように指定できます。

```
"Action": "savingsplans:Describe*"
```

すべての Savings Plans APIアクションを指定するには、次のように * ワイルドカードを使用します。

```
"Action": "savingsplans:*"
```

による Savings Plans APIコールのログ記録 AWS CloudTrail

AWS Savings Plans は、ユーザー AWS CloudTrail、ロール、または Savings Plans AWS のサービスによって実行されたアクションの記録を提供するサービスであると統合されています。は Savings Plans のすべてのAPI呼び出しをイベントとして CloudTrail キャプチャします。 Savings Plans キャプチャされた呼び出しには、からの呼び出し AWS Management Console と Savings Plans APIオペレーションへのコード呼び出しが含まれます。証跡を作成する場合、Savings Plans の CloudTrail イベントなど、Amazon S3 バケットへのイベントの継続的な配信を有効にすることができます。証跡を設定しない場合でも、CloudTrail コンソールのイベント履歴で最新のイベントを表示できます。によって収集された情報を使用して CloudTrail、Savings Plans に対して行われたリクエスト、リクエスト元の IP アドレス、リクエスト者、リクエスト日時、その他の詳細を確認できます。

の詳細については CloudTrail、[AWS CloudTrail 「ユーザーガイド」](#) を参照してください。

の Savings Plans 情報 CloudTrail

CloudTrail AWS アカウントを作成すると、はアカウントで有効になります。Savings Plans でアクティビティが発生すると、そのアクティビティは CloudTrail イベント履歴の他の AWS サービスイベントとともにイベントに記録されます。AWS アカウントで最近のイベントを表示、検索、ダウンロードできます。詳細については、[「イベント履歴での CloudTrail イベントの表示」](#) を参照してください。

Savings Plans のイベントなど、AWS アカウント内のイベントを継続的に記録するには、証跡を作成します。証跡により CloudTrail、はログファイルを Amazon S3 バケットに配信できます。デフォルトでは、コンソールで証跡を作成すると、証跡はすべての AWS リージョンに適用されます。証跡は、AWS パーティション内のすべてのリージョンからのイベントをログに記録し、指定した Amazon S3 バケットにログファイルを配信します。さらに、CloudTrail ログで収集されたイベントデータをさらに分析して処理するように、他の AWS サービスを設定できます。詳細については、次を参照してください:

- [証跡の作成のための概要](#)
- [CloudTrail サポートされているサービスと統合](#)
- [の Amazon SNS Notifications の設定 CloudTrail](#)
- [複数のリージョンからの CloudTrail ログファイルの受信と複数のアカウントからの CloudTrail ログファイルの受信](#)

Savings Plans のすべてのアクションは、[AWS Savings Plans APIリファレンス](#)によってログに記録され、[CloudTrail](#)され、[AWS Savings Plans APIリファレンス](#)に記載されています。例えば、CreateSavingsPlanアクションを呼び出すと、CloudTrail ログにエントリが生成されます。

各イベントまたはログエントリには、誰がリクエストを生成したかという情報が含まれます。アイデンティティ情報は、以下を判別するのに役立ちます：

- リクエストが、ルートとユーザーロール認証情報のどちらを使用して送信されたかどうか。
- リクエストがロールまたはフェデレーションユーザーのテンポラリなセキュリティ認証情報を使用して行われたかどうか。
- リクエストが別の AWS サービスによって行われたかどうか。

詳細については、[CloudTrail userIdentity 「要素」](#)を参照してください。

Savings Plans ログファイルエントリを理解する

証跡は、指定した Amazon S3 バケットへのログファイルとしてイベントを配信できるようにする設定です。CloudTrail ログファイルには 1 つ以上のログエントリが含まれます。イベントは、任意のソースからの単一のリクエストを表し、リクエストされたアクション、アクションの日付と時刻、リクエストパラメータなどに関する情報が含まれます。CloudTrail ログファイルはパブリックAPIコールの順序付けられたスタックトレースではないため、特定の順序で表示されません。

CreateSavingsPlan アクションの CloudTrail ログエントリの例を次に示します。

```
{
  "eventVersion": "1.05",
  "userIdentity": {
    "type": "AssumedRole",
    "principalId": "[principalId]/[userName]",
    "arn": "arn:aws:sts::[accountId]:assumed-role/[userName]/",
    "accountId": "[accountId]",
    "accessKeyId": "[accessKeyId]",
    "sessionContext": {
      "attributes": {
        "mfaAuthenticated": "false",
        "creationDate": "2019-10-01T00:00:00Z"
      },
      "sessionIssuer": {
        "type": "Role",
        "principalId": "[principalId]",
```

```
        "arn": "arn:aws:iam::[accountId]:role/[userName]",
        "accountId": "[accountId]",
        "userName": "[userName]"
    }
}
},
"eventTime": "2019-10-01T00:00:00Z",
"eventSource": "savingsplans.amazonaws.com",
"eventName": "CreateSavingsPlan",
"awsRegion": "us-east-1",
"sourceIPAddress": "127.0.0.1",
"userAgent": "[userAgent]",
"requestParameters": {
    "commitment": "2.50",
    "savingsPlanOfferingId": "[savingsPlanOfferingId]",
    "clientToken": "[clientToken]",
    "tags": {
        "tag-key": "tag-value"
    }
},
"responseElements": {
    "savingsPlanId": "[savingsPlanId]"
},
"requestID": "[requestId]",
"eventID": "[eventId]",
"readOnly": false,
"eventType": "AwsApiCall",
"recipientAccountId": "[accountId]"
}
```

ドキュメント履歴

次の表では、このサービスのリリースを説明しています。

変更	説明	日付
リターンSavings Plans	過去 7 日間および同じ暦月に購入した 1 時間あたりのコミットメントが 100 USD 以下の Savings Plans を返す新機能が追加されました。	2024 年 3 月 20 日
Visual Savings Plans 推奨事項	新しいビジュアルグラフを使用して Savings Plans のレコメンデーションを理解し、検証するのに役立つ新機能が追加されました。	2023 年 7 月 24 日
Savings Plans 推奨事項を更新する	現在の Savings Plans のインベントリと最新の利用データを考慮に入れるために、Savings Plans 推奨事項を更新する新機能を追加しました。	2022 年 12 月 5 日
AWS Fargate Savings Plans	Savings Plans では、Amazon ECS と Amazon の両方で AWS Fargate の使用がサポートされていますEKS。	2020 年 8 月 10 日
Lambda サービスのオンボーディング	Lambda は、Savings Plans の対象となる新しいサービスとして開始されました。	2020 年 2 月 20 日
初回リリース	本リリースで Savings Plans を導入しました。	2019 年 11 月 6 日

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。